

まちのトピックス  
in Shimada



from MURONE  
室根

多彩な室根の物産の中で人気ナンバー1を誇るリンゴ

## 特産品と太鼓で交流深め

### 吉川市民まつりに参加

本市の友好都市、埼玉県吉川市の「吉川市民まつり」は11月18日、同市の市民交流センターで催され、室根地域から34人が参加。リンゴやむろね〜じゅワイン、鶏肉などを販売し室根の特産品をPRしました。

秋晴れの中、5万6000人もの来場者が訪れたこの日。恒例となった室根の特産品コーナーは、目当ての品を買い求める客で大いににぎわいました。

まつりでは太鼓交流も行われました。むろね南流太鼓(小山誠喜会長)が交通安全パレードで山車を披露。イベント会場では吉川市の二つの太鼓団体と「いわいばやし」を共演しました。

from SENMAYA  
千厩



上/JAいわい東南部園芸センターを訪れ、青果物の出荷作業などを視察  
左/館山公園でモミジを記念植樹する  
孫開封市副市長

## 日中友好のきずな深まる

### 中国開封市人民政府代表団が来市

千厩地域と友好交流を続けている中国河南省開封市の人民政府代表団(孫継剛開封市副市長ほか5人)は11月28日から12月1日まで、一関市を訪れました。

旧千厩町と開封市との交流は、平成9年、日本との交流を希望していた開封市下の陳留鎮人民政府と懇談したことがきっかけ。翌年には、陳留鎮人民政府と日中友好千厩実行委員会との間で代表団が相互交流し、友好交流の覚書を交わすなど、本格的に交流が始まりました。15年には、陳留鎮にある三里堡小学校の建設を支援。さらに、農業研修生を受け入れるなどの人的交流も積極的に行われてきました。

代表団一行は浅井市長を表敬訪問後、(株)県南技術研究センター、(株)日ピス岩手千厩工場、いわい東農業協同組合の施設など、市内の産業を中心に視察。千厩地域内の館山公園では、友好の証しとしてモミジの木の記念植樹が行われ、両市の末長い交流を願いました。

30日には実行委員会(藤野壽男実行委員長)主催の歓迎レセプションが行われ、市民や関係機関・団体の代表者が一行を盛大に歓迎しました。八幡太鼓が披露されるなど華やかな雰囲気で行われ、藤野実行委員長は「今回の訪問を通してさらなる交流の輪が広がることを念願している」とあいさつし、孫団長は「今までの陳留鎮と千厩との交流を基礎として、今後、開封市と一関市との友好交流をより一層深めていきたい」と力強く語りました。

## 地域防災の大切さを学ぶ

### 大東町自公連研修会

大東町自治公民館等連絡協議会(菅原五三郎会長)主催による地域防災活動推進のための研修会は11月17日、大原公民館で開催されました。新潟県十日町市NPO防災ネットの尾身誠司さんを講師に迎え、「新潟県中越地震の記憶」と題した講演や身近にある風呂敷や段ボールなどを活用した救助方法の実技指導を受け、災害への心構えを新たにしました。

同地震の被害状況や避難生活の様子などを話す尾身さんは「他人事と思わず、災害に備えてチームワークを密にし、地域防災力を高めることが大切」と体験談を交えながら訴えかけました。



身近なものを活用した災害時の救護方法を学びました

from DAITO  
大東

from HANAIZUMI  
花泉



地区の期待に全力でタスキをつなぐ選手たち

## 大きな声援を受けて力走

### 花泉町内一周駅伝大会

第26回花泉町内一周駅伝大会(市体育協会花泉支部など主催)は11月25日、花泉総合運動公園を発着点に、町内7地区から9チームが参加して行われました。

地区の期待を担った小学生から60代までの選手117人がタスキに必勝の願いを込め、13区間42.05kmで健脚を競いました。小春日日で絶好のコンディションに恵まれたこの日、柔らかな日差しを受けた選手は、沿道から大きな声援と拍手を受けて懸命にタスキをつなぎ、ゴールを目指しました。その結果、涌津Aチームが5年連続12回目の優勝を飾りました。

## 県内の合唱団体が一堂に

### 岩手芸術祭「合唱祭」

「キラッと創造 ピカッと感動 夢未来!」をテーマに、第60回岩手芸術祭「合唱祭」が12月9日、一関文化センターで催され、県内の27団体約550人(うち市内からはコール・アザレア、コール シャンテなど8団体約180人)が出演しました。

各団体はコスチュームも鮮やかに、合唱組曲や「千の風になって」など、練習を積み重ねてきたそれぞれのレパートリーを熱唱。オープニングとエンディングでは、出演者全員による「大地讃頌」「ハレルヤ」の大合唱が奏でられました。聴衆はホールに響き渡る美しい歌声に耳を傾け、大きな拍手を送っていました。



1、2年生約60人がスケールの大きな演奏を披露した一関一高音楽部

from ICHINOSEKI  
一関

from HIGASHIYAMA  
東山



最高齢の岩井さん(前列中央)は赤いずきん姿で舞を披露しました

## 華やかにステージを舞う

### 第10回東山町おいとこ大会

東山ボランティア連絡協議会が主催する「東山町おいとこ大会」は11月23日、JAいわい東・東山支店レインボーホールで開催されました。大会は、東磐井地方に伝わりお祝いの席に欠かせないおいとこを传承しようと毎年開かれているもので、おいとこを中心に民謡や新舞踊など42演目が披露されました。

10回目を迎えた今大会を記念し、初回から出演している小野寺ヤス子さん(89)、岩井ナツさん(90)の年長者2人をたたえ「お慶び賞」を授与。最年長の岩井さんが赤いずきんとちゃんちゃんこ姿で登場すると、会場からはひととき大きな拍手が送られました。

## 手作りカレンダーを贈る

### 川崎保育園児が職場訪問

川崎保育園4歳児ゆり組22人の子どもたちは11月20日、川崎支所を訪れ、手作りの折り紙カレンダーを菊地事務長に手渡しました。寒空の下、保育園から歩いてきた子どもたちは寒さを吹き飛ばすような大きな声で「いつもお仕事ご苦労さまです!」とあいさつ。菊地事務長から「毎年ありがとうございます。風邪をひかないで元気に過ごしましょうね」と言われると、「はい!」と笑顔で答えていました。

この日は4、5歳児が社会福祉協議会川崎支部や川崎公民館なども訪れ、各施設に折り紙カレンダーを贈りました。



川崎支所にも手作りカレンダーをプレゼントしてもらいました

from KAWASAKI  
川崎